

平成24年度高知県学力定着状況調査の公表に係る県教育長のコメント

平成25年2月15日

本調査は、これまでの学力調査から明らかとなった小学校中学年からの学力の二極化、中1ギャップによる学力低下など様々な本県の学力課題を解決し、さらに一段高いレベルに子どもたちの学力を引き上げていくために、本県独自の学力調査として初めて実施したものです。

本調査の結果から、小・中学生ともに、国語の漢字の読みや数学の関数の問題など基礎的・基本的な内容において、一定の改善が図られていることがうかがえます。

一方で、これまでの学力調査の結果において課題とされていた、目的や条件に応じて、自分の考えを書くなどの記述式問題に依然として課題が見られました。

調査問題には、基礎的・基本的な知識・技能の習得や自ら課題を解決するための思考力・判断力・表現力の育成に向けて、教材作成のヒントや授業改善の視点など、より質の高い授業づくりへのメッセージを込めています。

また、各学校や市町村教育委員会においては、本調査を積極的に活用することで、学力向上に向けたPDCAサイクルをさらに充実させていただきたいと考えております。

県教育委員会としましては、子どもたちが「夢」や「志」をもち、自らの力で将来を拓いていくための基盤となる学力を確実に身に付けさせるために、保護者や県民の皆様のご理解とご協力を得ながらこうした取り組みをさらに充実させてまいります。

高知県教育長 中澤 卓史